

教育の日、記念論文 子供たちに伝えたい二つのこと 最優秀論文沓沢圭子さん

「教育の日」を記念して募集していた記念論文で、次の方々の論文が入選になりました。
 <最優秀> 沓沢圭子さん(赤館町)
 <優秀> 高杉義勝さん(繁沢)
 工藤春代さん(新沢)
 このうち、沓沢圭子さんの最優秀論文を、今号と次号の2回にわたって掲載します。



私は、この「教育の日」にちなんで子供たちと共に、是非とも守って生活していきたい二つのことを述べてみたいと思います。

一つは、幼児の時から呼ばれたら「ハイ」と気持ちのよい返事を相手に返すしつけを徹底的にすると同時に、大人も「ハイ」と返事をすることを常に心がけること。二つ目は、背骨が正常に發育するように、子供の心身に對してきめこまかな配慮をすること。この二つです。現在は、子供をとりまく悲惨な事件が、次々と起こっていますがこの二つのことに留意して育てることが、これらの悲しい出来事を予防する底からの力をつけ、素直で丈夫な子供に成長する大切な要素を培うのではないのでしょうか。

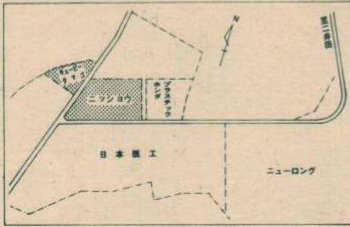
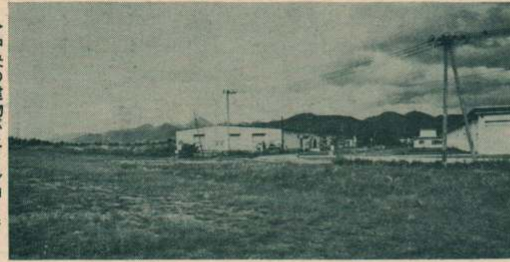
私の尊敬する数学者の故岡潔先生は幼い時祖父から「他人を先にして、自分を後にせよ」という戒律を厳しく守らせられたそうです。これは自我を抑止せよということであり、数学者としての自分、つまり創造性に富んだ人格に育てられるのに、一番役立った教育は、祖父のこの教えであったと「業の火花」の中で述べ「学問上の優れた発見、発明、芸術上の創作は、すべてその人の情緒が、大脳前頭葉から出て、外界に形あるものとして表現せられるのであり、本当に生きがいを感じて生きている人は、日々創造し続けているのだ」と述べています。大脳前頭葉を本当によく働かせるためには自我を抑

止する訓練を幼時から行うことが望ましいと色々な例をひいて説明しています。私は、呼ばれた時に、即座に「ハイ」という返事をするのは、瞬間的に自我を抑止する訓練をしていることになり、この習慣が身につくことで、青年期になった時に相手の話すことを受け容れられる下地を培っており、それが青年自身の幸せを築く力に結実するのではないかと思います。

私は三好達治の
 “わが名を呼びてたまはれ
 いとけなき日のよび名もて
 わが名をよびてたまはれ
 あはれ いまひとたび わがいとけなき日の名をよびてたまはれ
 風の吹く日とほくより
 わが名をよびてたまはれ
 庭のかたへに茶の花の
 さきのこる日のちらちらと
 雪ふる日とほくより
 わが名をよびてたまはれ
 よびてたまはれ
 わが名をよびてたまはれ”

という詩が、好きなのですが「ハイ」という気持ちのよい返事の出来た童心の時期を自らに持っている人が、この詩に感動する心と、原点に立ち帰ろうとする素直さをよみがえらすことが出来るのではないのでしょうか。しかし、子供たちも身近に「ハイ」という言葉が聞かれる環境であるよう、私たち大人も「ハイ」と返事出来る人間になるよう努力をしなければと思わされるこの頃です。(次号につづく)

中央の建物がニッショイで左側空地にはキュービータマゴの工場が建設されます



ニッショイ大館工場は、二井田の内陸工業団地にある日本医工(株)の北側の一万二千平方メートルの敷地に、三十四万平方メートル(第一期分)を現在建設中です。そして来年一月、従業員三十五人(男二十五人、女十人)で操業を開始。注射針、注射筒

市では、二井田にある内陸工業団地への企業誘致を進めています。新たに医療器具メーカーである「株式会社ニッショイ」の大館工場と、鶏卵の加工工場である「キュービータマゴ株式会社」の秋田営業所付属工場の二企業を誘致しました。これにより市の誘致企業は、全部で十一企業となりました。

秋田営業所付属工場
 マヨネーズで有名な「キュービータマゴ株式会社」が、鶏卵を加工する工場を団地内に建設するものです。

新たに二企業を誘致

輸液セットなどの医療用器具が生産されます。将来は八十五人ほどに増員される予定で、雇用拡大と資材の供給など当市の経済に大きく貢献されるものと期待されています。

救急車は正しく利用しましょう



あなたの家族が、知人が、またはあなた自身が急病や事故にあったとき、いち早く病院へ運ぶため救急車は日夜待機しています。救急車は正しく利用してください。

◆救急車の呼びかた
 救急車を呼ぶときは、ダイヤル119番を回し、次の要領で通報してください。
 ①「交通事故です」または、「急病です」
 ②「〇〇番〇〇号〇〇小学校の北側です」……目標物を詳しく
 ③「病人が〇人です。〇〇をケガしています」
 ④「私の名前は〇〇で、この電話は〇局〇〇〇〇番です」
 ◆救急車を誘導してください
 救急車の「ビーボア」が開いたら、目標となる場所に出で救急車を病人のところまで誘導してください。

◆救急車を利用

できないのは

救急車は、一日平均約三回出動していますが、緊急を要しない場合の出動要請が非常に多くなっています。生命にかかわる傷病以外の出動要請はしないようご協力をお願いします。
 ・軽い病やケガで、緊急に運ぶ必要のない傷病者
 ・ケガや病気がない酔っぱらい
 ・お産で入院するとき
 ◆救急車を利用できるのは
 ・災害によって負傷者がたるとき
 ・交通事故や運動競技中の事故で負傷者や病人がたるとき
 ・家庭などで負傷者や急病人がで、医療機関へ運ぶ手段がなく、緊急に運ばなければならないとき。

◆各種相談の お知らせ

- ◇家庭教育相談 10月4日、18日、25日
- ◇交通事故相談 10月12日、19日、26日
- ◇社会保険相談 10月20日
- ◇法律相談 10月18日
- ◇市役所会議室 10月18日
- ◇市役所会議室 10月18日
- ◇市役所会議室 10月18日

市役所を「案内」します

社会教育課 (課長 菊地 博)

本庁舎東側三階の教育委員会事務局には、先に紹介した総務課、学校教育課、そして今回の社会教育課(社会教育係、生涯教育係)があります。
 —社会教育係ではどんな仕事をしていますか
 公民館、図書館、児童育成施設など社会教育施設の活動の指導助言、視聴覚の講座とフィルムの貸出し、文化財の保護、芸術文化の奨励、青少年問題協議会、環境浄化推進会議に関する仕事のほか、成人式の行事、少年少女発明クラブ、ユースホステル、花いっぱい運動の仕事も扱っています。
 —生涯教育係ではどんな仕事をしていますか
 生涯教育推進事業として、毎年9月に「教育の日」を実施しています。また、各公民館に生涯教育奨励室(フーラーの窓口)を置き、市民が学習するための整備充実を図っています。また生涯教育奨励員の特技を生かして公民館の実施する事業、各種講座等に講師、司会者、助言者として活用を図るため、より一層公民館との連携の強化を努めています。そのほか生涯教育の広報紙「あゆみ」を発行しています。

社会教育課 49-3111内線254、5

二井田財産区議会 議員一般選挙

二井田財産区議会議員の選挙が、次の日程で行われます。ルールを守って明るく正しい選挙にしましょう。
 投票日・10月29日(金)午前7時~午後6時
 選挙職員数・7人
 ◆選挙人名簿の縦覧と閲覧
 期間・10月22日、26日 午前8時30分~午後5時
 縦覧・市役所選挙管理委員会事務室
 閲覧・二井田出張所(土曜日午後と日曜日をのぞく)
 ◆投票の日
 昭和三十七年十月三十日以前に生まれた方で、昭和五十七年七月二十一日以前から二井田地区に引き続き住所を有している方です。
 ◆不在者投票
 期間・10月22~28日
 午前8時30分~午後5時
 場所・選挙管理委員会事務室(電話49-3111)



選挙管理委員会事務室(電話49-3111)

結婚披露宴

結婚披露宴について皆さんのご意見ご提言をお寄せください。

電話番号をご記入のうえ十月十六日までに市役所総務課広報係まで郵送してください。